

“核兵器のない世界を”の声をさらに大きく

ことし5月、皆さんからの署名69.1万人分をニューヨークに運び、国連本部で開かれた核不拡散条約(NPT)再検討会議に提出しました。再検討会議は5月末、「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」ことを確認し、次の会議(2015年)にむかって行動計画を決定しました。署名は大きな力となりました。みなさんのご協力に感謝し、次のステップにむけて一層のご支持を訴えます。

「核の傘」から脱して、非核三原則の実行を

日本政府は今度の会議でも、核兵器禁止の目標やそのための具体的行動を提案できませんでした。日本自身がアメリカの「核の傘」に依存しているためです。

日本の安全を保障するものは核兵器ではありません。憲法が定める徹底した平和主義の外交です。

世界全体が核兵器の廃絶へと動いているいま、「核兵器による安全」から「核兵器のない世界による安全」へと進路を正し、核兵器全面禁止のためにイニシアチブを発揮するように要求しましょう。そのためにも核兵器を「持たず、つくらず、もちこませず」の非核三原則の実行を求めましょう。

「海兵隊は抑止力」はウソ、普天間基地は無条件撤去を

普天間基地問題、「政治とカネ」の問題、国民の暮らしの問題など、公約違反が続き、鳩山内閣は退陣しました。しかし菅直人新首相は「日米同盟が機軸」と言い、米海兵隊の新基地を沖縄・名護市に押し付けようとしています。沖縄の海兵隊はベトナム戦争やイラク、アフガニスタンに見られるように海外の武力行使のためのもので、日本の防衛とは無関係です。沖縄県民への犠牲の押し付けをやめさせ、普天間基地の無条件撤去を要求しましょう。また、米軍への「思いやり」のための国民への負担増をやめさせましょう。

核兵器のない世界への扉を開く原水爆禁止2010年世界大会の成功を

被爆65年目のことし、広島と長崎で原水爆禁止2010年世界大会が開かれます。

大会では、「核兵器のない平和で公正な世界」をめざして活躍する国連や非同盟運動、非核国の政府、海外の反核平和運動や核被害者の代表などが日本の運動の代表と交流し、次の行動について討論します。核兵器の廃絶を願う人なら誰でも参加できます。みなさんの参加、職場、地域、学園からの代表派遣や賛同募金を訴えます。



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>